

令和4年度 第1号(通巻3号)

しんこうじ

真光寺遺跡 発掘たより

2022年7月1日発行

★令和4年度の調査がはじまりました

昨年度に引き続き、5月16日(月)から、松本市 ^{はたさみぞ}波田三溝 の真光寺遺跡の発掘調査を開始しました。

調査地点は、アルピコ交通上高地線三溝駅の北東200m余。真光寺のお堂と国道158号の間にあたります。中部縦貫自動車道松本波田道路建設に先立つ調査で、昨年度は、波田地区初の古墳調査を実施。中世の火葬施設なども見つかりました。



真光寺遺跡の位置



昨年度調査を終えた古墳



姿をあらわしはじめた川原石の列、2基めの古墳になるか

★2基めの古墳発見か

今年度の調査区は深くまで^{かくらん}攪乱がおよんでいたため、遺跡が残っていないのではと不安が走りました。しかし、^{きばんれきそう}基盤礫層を掘りこむ黒色土の落ち込みがみつかり、礫層には見られない大形の川原石も並んでいたこと（写真上）から、古墳の期待が高まっています。

さらに、現在の真光寺に近い地区からは、昨年に引き続き、火葬施設とみられる炭化物・焼土・焼骨片が混じる黒色土の落ち込みが見つかっています。

今後の調査に期待がふくらみます。



重機による表土掘削の瞬間が虫を捕るねらいめ

さて、周囲の屋敷林や藪には多種類の鳥が生息しており、重機で土を掘削するたびにモズをはじめ、セキレイ・カラスがやってきます。また、キジ・シジュウカラ・ツバメ・トビ・猛禽類なども顔を見せています。

松本市波田 真光寺遺跡 発掘たより（通巻3号）
担当：真光寺遺跡班 080-9560-1355
発行：令和4（2022）年7月1日
HP：<https://naganomaibun.or.jp/>